

目次

- ・ [必要なシステム、動作環境](#)
- ・ [インストール手順](#)
- ・ [用語解説](#)
- ・ [プレゼンテーションを行う](#)
- ・ [プレゼンテーションを編集する](#)
- ・ [プレゼンテーションを作成する](#)
- ・ [コンテンツを書き出す](#)
- ・ [コンテンツをHTMLに書き出す](#)
- ・ [コンテンツをLMS用に書き出す](#)
- ・ [コンテンツを読み込む](#)
- ・ [クイズを作成する](#)
- ・ [フォルダやページの検索](#)
- ・ [オブジェクトとして利用できるファイル形式](#)
- ・ [お問い合わせ](#)

必要なシステム、動作環境

OS

下記のいずれかのOSで動作します(すべて日本語版)
Microsoft® Windows® XP Home Edition
Microsoft® Windows® XP Professional
Microsoft® Windows® 2000 Professional
Microsoft® Windows NT® 4.0 Workstation Service Pack 6a
Microsoft® Windows® Millennium Edition (Windows® Me)
Microsoft® Windows® 98 Second Edition

ブラウザ

下記のいずれかのブラウザがインストールされていることが必要です
Microsoft® Internet Explorer 5.5 Service Pack 2以上
Microsoft® Internet Explorer 6.0 以上

[Microsoft® Internet Explorer サイト](http://www.microsoft.com/japan/ie/) 

<<http://www.microsoft.com/japan/ie/>>

CPU

Intel® Pentium® シリーズまたはその互換CPU 200MHz以上

画面解像度と色数

1024x768ピクセル以上/16bitカラー以上

メモリ

64MB以上

ハードディスクの空き容量

システムドライブに300MB以上の空きが必要

CD-ROMが読めるドライブ

CD-ROMで供給された場合、インストール時に使用します

その他

キーボード、マウス等のポインティングデバイス

[TOP](#)

インストール手順

1. rekos_setup_1.1.x.exe (ファイル名の末尾はバージョンによって変わります) アイコンをダブルクリックします。
2. 画面の指示に従ってインストールします。
既にReKOSがインストールしてある場合は、プログラム機能の変更、修復、削除ができます。
バージョンアップする時には、一旦削除してから、再度rekos_setup_1.1.x.exeアイコンをダブルクリックしてインストールしてください。
3. デスクトップにReKOSのアイコンが表示されます。これをダブルクリックして起動します。または、スタートメニューから起動することもできます。
4. [設定]メニューから[編集者情報の設定]を選択し、利用者の情報を入力してください。編集者情報はページの作成や編集の際、LOM情報の[提供]項目に自動的に追記されますので、複数の方で利用する場合には起動時に必ず確認してください。



[TOP](#)

用語解説

コンテンツの構造について

・ページ

タイトル、本文や、画像や動画など(オブジェクト)を含み、プレゼンテーションにおいて1画面に表示される単位のことです。ReKOSでのプレゼンテーションとは、スライドをめくっていくように用意したページを順番に表示していくことです。またReKOSのコンテンツは、フォルダによって整理されたたくさんのページが集まったものと考えられます。ユーザは既存のページを並べ替えたり、内容を編集したり、テンプレートに従って新たなページを作成したりすることが出来ます。実はReKOSのページはHTML形式で表現されており、実際には1つのHTMLファイルを意味します。

SCORMの用語では「SCO」に相当します。

・オブジェクト

ページ内に表示される画像や動画、インタラクティブメディアのことです。ひとつのページ内には、複数のオブジェクトが含まれる場合もあれば、タイトルだけのページでオブジェクトが含まれない場合もあります。具体的には、ページのHTMLファイルから参照されている外部ファイルを意味します。

SCORMの用語では「アセット」に相当します。

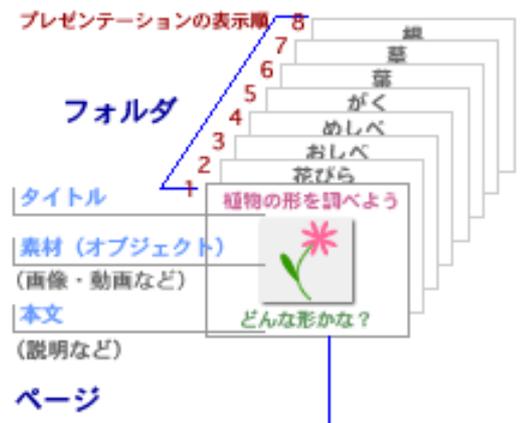
・フォルダ



複数のページや他のフォルダを含むことのできる入れ物のことです。

パソコンで扱っているファイルシステムに対応させて考えると、「ページ」が「ファイル」、「フォルダ」が「フォルダ」や「ディレクトリ」に対応します。ただし、ReKOSの「フォルダ」は、中のページやフォルダの並び順についての情報も持っており、プレゼンテーションで表示する順番に並べて整理しておくことができます。

SCORMの用語では「ブロック」や「コンテンツアグリゲーション」に相当します。



・ライブラリ



ReKOSでは、既製品として提供されたコンテンツと、自分で作成したり編集したコンテンツを置いておく場所をはっきりと分けています。既製品や外部から読み込まれたコンテンツを置いておく場所をライブラリと呼びます。この中に置かれたコンテンツは、自由に利用することができますが、フォルダやページの編集を行うことができません。これは、既に出来上がったコンテンツを利用している際に、間違えて内容を書き換えたり削除してしまったりすることを避けるためです。

・ワークスペース



ReKOSでは、既製品として提供されたコンテンツと、自分で作成したり編集したコンテンツを置いておく場所をはっきりと分けています。利用者が自分で作成や編集を行うページやフォルダを置いておく場所をワークスペースと呼びます。既製品のコンテンツを一部編集して利用したい場合は、ライブラリからコンテンツが必要な部分をワークスペースに持ってきて(コピーして)、その上で編集を行います。ワークスペース内のコンテンツもプレゼンテーションに利用できますし、自分で作成・編集を行ったコンテンツをReKOSから書き出して他人に渡したり、それをライブラリに読み込んで利用することもできます。

・LOM情報

ReKOSで扱うフォルダやページには、それぞれの名前や内容についての説明、作成者などの情報を含むLOM情報というデータが付加されています。これによって、コンテンツの数が非常に多くなってきても、LOM情報に登録された内容やキーワードから目的のフォルダやページを検索することができます。またコンテンツの編集を行った後も、オリジナルのコンテンツの作成者やその後の変更を加えた編集者の情報が保持されることで、常に著作権情報も維持されるようになっています。LOM情報の設定は、ページの作成や編集の際に行うことができます。コンテンツの再利用性を高めるためにも、きちんとLOM情報を入力することが重要です。

現在のバージョンでは、フォルダに関するLOM情報の作成や表示はできません。

コンテンツの作成と編集について

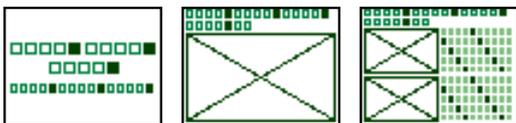
・コンテンツの編集



既製品のコンテンツは内容も良く練られ、すっきりと整理された構造になっているものが多いでしょう。しかし実際にプレゼンテーションを行う際には、その中の一部のページのみが必要だったり、違う流れで話を進めたい場合もあります。そのためReKOSでは、利用者が既存のコンテンツの内容を編集することができます。具体的には、コンテンツ内のフォルダ内のページの並び替えや削除のほか、他のコンテンツからもページを集めてきたり、必要なら新しいフォルダやページを作成・追加することで、完全にオリジナルなコンテンツを作成することもできます。

・テンプレート

ページ内のタイトルや本文、オブジェクトの数やレイアウトを決めた“ひな形”のことです。ReKOSではあらかじめいくつかのテンプレートを用意しており、多くのコンテンツはこれらのテンプレートに従った画面レイアウトになっています。この仕組みによって、ユーザは統一されたレイアウトのもとで様々なコンテンツを利用できます。またコンテンツ開発者は、レイアウト設計に時間をかけることなく内容の制作に専念できます。

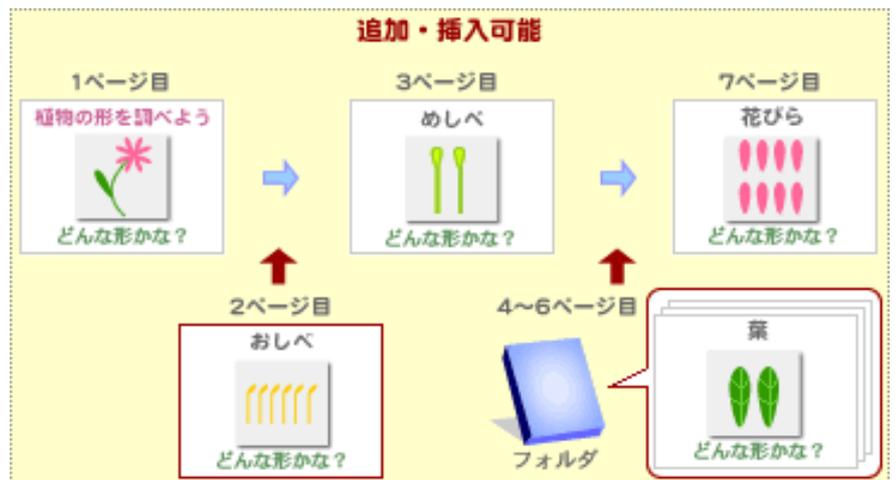
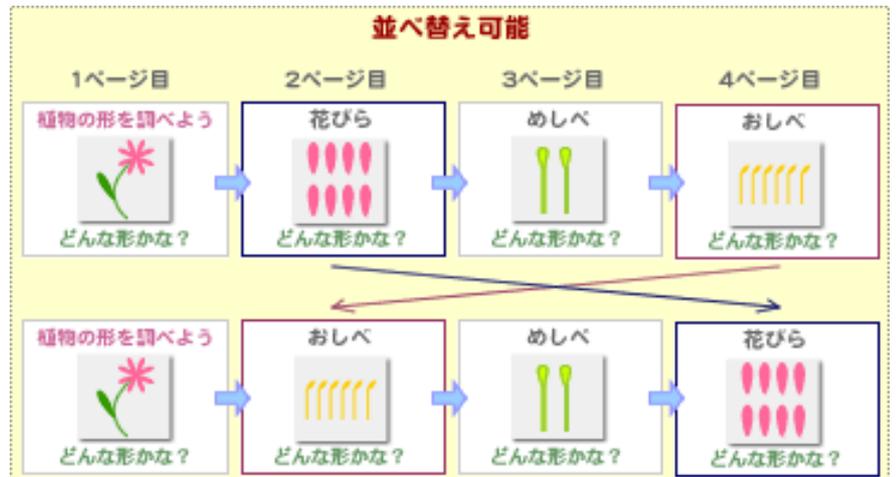


・クイズ



ReKOSコンテンツのページのひとつとして、選択方式または穴埋め方式の問題を作成・利用できます。

現在、機能調整中です。



インターフェースについて

・ツリービュー

ReKOSに読み込まれているコンテンツのフォルダ構造をツリー状に表示します。

・リストビュー

ツリービューで選択されたフォルダ内のページやフォルダを一覧表示します。

・並べ替えエリア

[フォルダ編集]中のフォルダの内容を表示します。この中でページやフォルダの追加・削除や、並び替えを行うことができます。

・プレビューエリア

リストビューで選択されたページの内容をプレビュー表示します。

・LOM表示エリア

リストビューで選択されたページのLOM情報を表示します。



[TOP](#)

■ プレゼンテーションを行う

ReKOSでコンテンツをプレゼンテーションする方法について説明します。ReKOSでは、指定したフォルダに含まれる一連のページを順番に表示していくことでプレゼンテーションを行います。

プレゼンテーションの手順

1. プレゼンテーションしたいフォルダやその中のページをクリックして選択します。
フォルダを選択するとそのフォルダ内の1ページ目から、ページを選択するとそのページから開始できます。

2. [プレゼンテーション]メニューの[開始...]をクリックするとプレゼンテーションが開始されます。ツールバーの[開始]ボタン  や、キーボードの[F5]キーでも同様に開始できます。

[ライブラリ]や[ワークスペース]内の1階層目のフォルダを選択している状態では、プレゼンテーションの[開始]はできません。2階層目以下にあるフォルダやページを選択してから、プレゼンテーションを[開始]して下さい。

ReKOS対応コンテンツは、横1024ピクセル、縦768ピクセルの画面サイズで動作するように作られています。画面サイズが異なる場合はメッセージが表示されますので、[OK]を選択して画面サイズを推奨サイズに変更して下さい。

3. プレゼンテーションが開始されたら、画面右下の [目次] [(前のページ)] [(次のページ)] [板書] のボタンを利用してプレゼンテーションを行います。また、キーボードから以下のキーで操作することもできます。

次のページ: [N] [] [] [スペース]
前のページ: [P] [] []
目次: [M]
板書: [T]



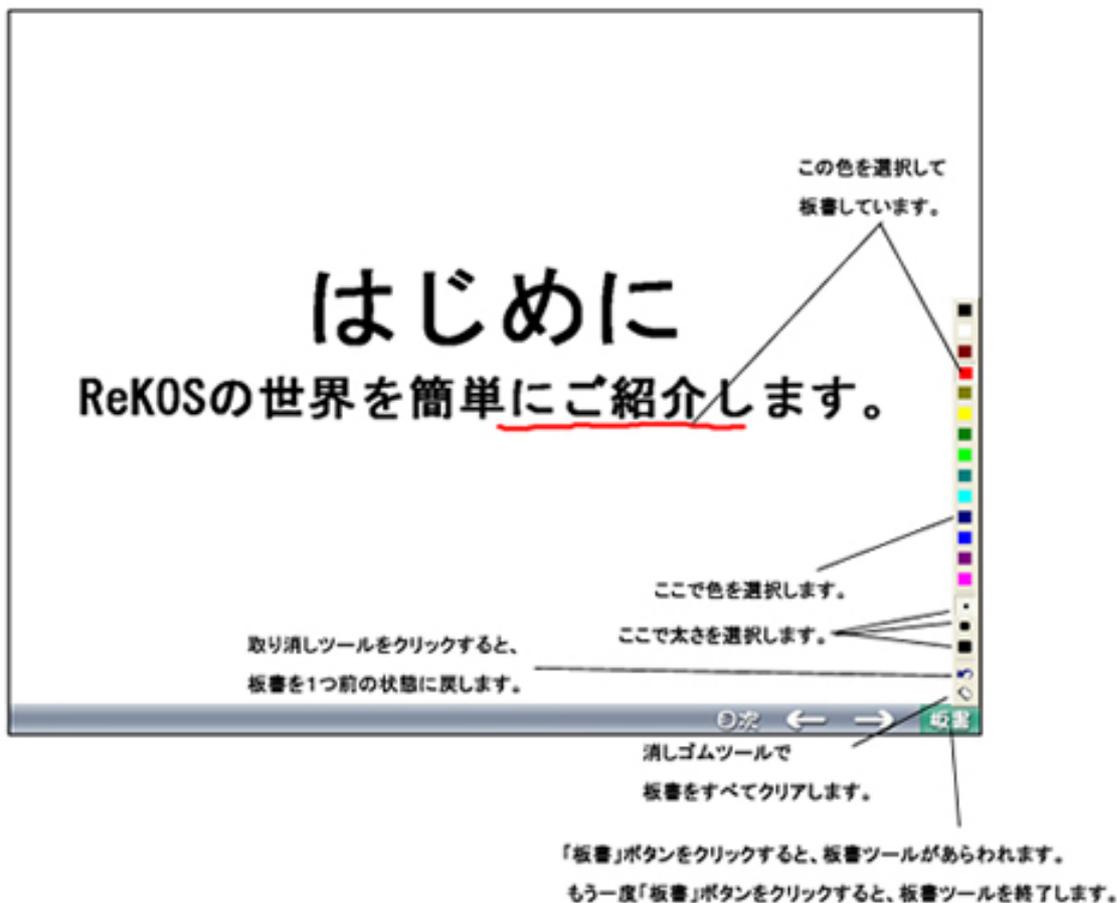
4. プレゼンテーションを終了するには、[目次]から[終了]を選ぶか、キーボードの[Esc]キーを押します。

板書機能の使い方

板書機能は、表示している画面にマークを付けたり、手書きで文字や記号を記入したりするための機能です。ページデータそのものには書き加えるのではなく、透明な板を一時的に作成し、その上に書き込むことで実現しています。記入した内容は1回のプレゼンテーションの間だけ有効で、保存されません。

板書をする時には、プレゼンテーション中に画面右下の[板書]ボタンをクリックします。板書ツールが表示されるので、色やペンの太さなどを選択して板書を行います。板書機能を終了するには、再度[板書]ボタンをクリックします。

板書機能を使っているときは、ページを変えることができません。ページを変える際は、再度[板書]ボタンをクリックして板書機能を終了させて下さい。



[TOP](#)

プレゼンテーションを編集する

ワークスペース内にあるプレゼンテーションは、フォルダごと、あるいはページごとに編集することができます。ライブラリ内のコンテンツも、ワークスペースに持ってくる(コピーする)ことで自由に編集することができます。

フォルダの編集

1. ツリービューで編集したいフォルダを選択し、[編集]メニューまたはツールバーから[フォルダ編集]  を選択します。あるいは、ツリービュー内でマウスの右クリックで表示されるメニューからも[フォルダ編集]を選択することができます。

2. [フォルダ編集]されたフォルダの内容が並べ替えエリアに、プレゼンテーションの順番に並んで表示されます。

編集中のフォルダはアイコンに赤い丸が表示されます



。また、ReKOSのタイトルバーや並べ替えエリアの上部に編集中のフォルダ名が表示されます。[フォルダ編集]を終了するには、並べ替えエリアの右上の[編集終了]ボタンをクリックするか、編集中のフォルダをツリービューで選択して再度[フォルダ選択]を実行します。

3. [フォルダ編集]中には、このフォルダ内で以下の操作が可能です。

- ・ ページを他のフォルダから持ってくる
ライブラリやワークスペースにある既存のフォルダやページを、編集中のフォルダに持ってくる(コピー)することができます。
リストビューにあるページやフォルダのアイコンを、並べ替えエリアの任意の位置にドラッグ&ドロップすることで追加することができます。
- ・ ページやフォルダの順序を入れ替える
並べ替えエリアに表示されたページやフォルダのアイコンをエリア内の任意の位置にドラッグ&ドロップすることで、ページやフォルダの順序を入れ替えることができます。
- ・ ページやフォルダを削除する
並べ替えエリアに表示されたページやフォルダのアイコンを選択し、キーボードの[Delete]キーを押すと削除できます。フォルダを削除する際には確認を求めるダイアログボックスが表示されるので、[OK]を選択して削除します。
- ・ ページを作成・編集する
新しいページを作成して編集中のフォルダに追加したり、フォルダ内の既存のページの内容を編集することができます。詳しくはこの後で説明します。

ページの編集

1. [フォルダ編集]中に、並べ替えエリアに表示されたページのアイコンを選択し、[編集]メニューから[ページ編集]を選択します。または、ページのアイコン上で右クリックして[ページ編集]を選択します。
2. ページ作成ウィザードに入ります。ここでページの作成時と同様に、編集ができます。詳しくはこの後で説明します。
3. 編集が終わると、編集の履歴がLOM情報として追加されます。
[設定]メニューの[編集者情報設定]に設定されている内容が、LOMの詳細の[提供]項目に追加されます。

フォルダ名やページ名の変更

ワークスペース内のフォルダ名を再設定するには、ツリービュー内で名前を変更したいフォルダをゆっくりと2回クリックし、そこで再度フォルダ名を設定します。

ページ名は、ページのLOM情報の[タイトル]の設定から自動的に付けられます。ページ名を変更したい場合は、[ページ編集]からLOM情報を編集してください。

フォルダやページの削除

[フォルダ編集]中に、並べ替えエリアに表示されたフォルダやページのアイコンを選択し、キーボードの[Delete]キーを押すことで削除することができます。

フォルダの削除は、[フォルダ編集]中でなくともツリービュー内でフォルダを選択し、キーボードの[Delete]キーを押すことで削除することができます。

ライブラリ内のフォルダは、ライブラリのすぐ下の階層、すなわち読み込んだコンテンツ単位でしか削除できません。

[TOP](#)

プレゼンテーションを作成する

フォルダの作成

1. ワークスペースの[ローカルフォルダ]フォルダ内には、新しくフォルダを作成することができます。フォルダを作成することでコンテンツの整理を行うことができます。
2. ツリービューの[ローカルフォルダ]内のフォルダを選択して、[編集]メニューまたはツールバーから[新規フォルダ]  を選択します。選択したフォルダの下に[名称未設定]フォルダが追加され、選択状態になります。そのまま新しいフォルダの名前を設定することができます。
3. ワークスペース内のフォルダ名を再設定するには、ツリービュー内で名前を変更したいフォルダをゆっくりと2回クリックし、そこで再度フォルダ名を設定します。

ページの作成

- ワークスペースの[ローカルフォルダ]フォルダ内には、新しくページを作成することができます。テンプレートに従って各項目を入力していくだけで、簡単に再編集可能なページが作成できます。
- 作成したページを入れるフォルダを[フォルダ編集]状態にします。具体的には、ツリービューで[ローカルフォルダ]内のフォルダを選択し、[編集]メニューまたはツールバーから[ページ編集]  を選択します。
- [編集]メニューまたはツールバーから[ページ作成]  を選択すると、[ページ作成ウィザード]が開きます。テンプレートを選択して[Next]ボタンをクリックします。
- ページの内容を作成します。右上のプルダウンから設定項目を選択し、その下の入力欄に入力します。[プレビュー更新]ボタンをクリックすると、左にプレビューが表示されます。

[タイトル]では1行のタイトル文字列を、[本文]では複数行の文章を入力することができます。[本文]ではHTMLタグを使った文字装飾を行うこともできます。[オブジェクト]では、画像やムービーなど表示したいメディアのファイルパスかURLを入力します。ファイルを入力エリアにドラッグ&ドロップしてもファイルパスを設定できます。画像以外のオブジェクトでは、プレビュー表示に使用される代替画像のファイルパスも入力する必要があります。オブジェクトについてより細かく設定を行うには、[詳細設定]ボタンをクリックして[オブジェクト作成ウィザード]を開きます。[オブジェクト作成ウィザード]については後述します。

実際にプレゼンテーションで表示される画面イメージを見ながらページを作成したい場合は、[デザイン編集]ボタンをクリックします。[ページ編集]ウィンドウが表示され、この中で各項目を直接入力できます。このウィンドウ内で入力項目を切り替えるにはキーボードで[Tab]キーを押します。ウィンドウ上部のツールバーを使って、本文の文章について文字装飾などを行うことができます。オブジェクトを設定するには、ウィンドウ内の[オブジェクト]ボタンをクリックして[オブジェクト作成ウィザード]を開きます。[オブジェクト作成ウィザード]については後述します。[ページ編集]ウィンドウでのページ編集を終了するには、ウィンドウ右上の[x]ボタンでこのウィンドウを閉じます。

ページ内容について全ての入力が終わったら、[Next]ボタンをクリックします。
- [LOM情報入力]でLOM情報を入力します。ここで入力した内容は、リストビューでの表示や、キーワード等によるページ検索に使用されます。再利用性を高めるためにも、できるだけ適切に入力してください。
- [Finish]ボタンをクリックして、ページの作成を終了します。

オブジェクトの作成

- ページの作成中に[オブジェクト作成ウィザード]を開いて、オブジェクトの作成や詳細設定を行うことができます。
- [オブジェクトファイル]の入力欄に、画像やムービーなど表示したいメディアのファイルパスかURLを入力します。ファイルを入力エリアにドラッグ&ドロップしてもファイルパスを設定できます。
- オブジェクトによっては、オブジェクトの表示エリアへのサイズ合わせ方法を選択したり、背景色や再生コントローラの設定、自動再生の設定などを行うことができます。
- 画像以外のオブジェクトについては、プレビュー表示用の画像を作成する必要があります。ファイルパスの入力後、[代替画像作成]をクリックして[オブジェクト画面キャプチャ]ダイアログを表示させます。オブジェクトの内容をよく表している状態で[キャプチャ]ボタンを押すと、代替画像が作成されます。

一部の環境では、ビデオドライバのアクセラレーション機能によりムービーの画面キャプチャに失敗する場合があります。この場合は、ムービーの再生中に右クリックから設定画面を開き、その中でハードウェアアクセラレーションを無効化するように設定してみてください。
- オブジェクトが一つ以上のファイルから構成される場合、[関連ファイル]ボタンをクリックして[関連ファイル編集]ダイアログを開きます。この中に必要な関連ファイルのファイルパスをすべて登録してください。ファイルパスはファイルをこのダイアログにドラッグ&ドロップしても登録できます。関連ファイルとして登録されたファイルは、コンテンツの移動や書き出しの際にも適切に処理されます。
- ReKOSではオブジェクトをページ内のHTMLタグに変換する際、メディアの種類をファイルパスの拡張子から自動的に判別して、それぞれについて適切なHTMLタグを作成します。しかし関連ファイルの指定やオプションパラメータの指定など、特別なHTMLタグを使用したい場合は、[タグ編集]ボタンをクリックして[タグ編集]ダイアログを開きます。ここで置換文字を含むHTMLタグを作成して[OK]で設定すると、オブジェクトの表示の際にはここで作成したHTMLタグを使用してオブジェクトが表示されます。
- オブジェクトについて全ての設定が終わったら[Next]ボタンをクリックします。
- [ページ情報(LOM)入力]画面でLOM情報を入力します。再利用性を高めるためにも、できるだけ適切に入力してください。
- [Finish]ボタンをクリックして、オブジェクトの作成を終了します。

[TOP](#)

コンテンツを書き出す

既存コンテンツや作成したコンテンツは、フォルダ単位でコンテンツパッケージとして書き出すことができます。これによって、他のReKOSユーザーとのコンテンツの交換が可能になります。

- ツリービューで書き出したいフォルダを選択します。
- [ファイル]メニューまたはツールバーから[フォルダ書き出し]  を選択します。

書き出す先のファイルパスに日本語の名前を使用すると、書き出したコンテンツを読み込む際に画像が表示されなくなってしまいます。必ず、半角英数字を使用するようにしてください。

[TOP](#)

コンテンツをHTMLに書き出す

コンテンツをHTMLに書き出すことで、ReKOSユーザー以外にもコンテンツを渡したり、ウェブサイト公開することが可能です。

1. ツリービューでHTMLに書き出したいフォルダを選択します。
2. [ファイル]メニューまたはツールバーから[HTML書き出し]  を選択します。
3. 保存先のファイルパスを入力して[保存]をクリックします。
4. 書き出したHTMLは、フォルダ内の1ページ目のHTMLファイル (00000000.html)をダブルクリックしてブラウザで表示することができます。

書き出す先のファイルパスに日本語の名前を使用すると、書き出したコンテンツを読み込む際に画像が表示されなくなってしまいます。必ず、半角英数字を使用するようにしてください。

[TOP](#)

コンテンツをLMSに書き出す

コンテンツをLMS(Learning Management System)用に書き出すことで、ReKOSコンテンツをLMS環境で利用できます。

1. ツリービューでLMS用に書き出したいフォルダを選択します。
2. [ファイル]メニューから[LMS用書き出し...]を選択します。
3. 保存先のファイルパスを入力して[保存]をクリックします。

書き出されるものは、SCORM1.2に準拠したLMSで使用するためにLMS連動機能を追加したHTMLファイルです。
「SCORM Version 1.2 Conformance Test Suite Version 1.2.4」での動作確認がされていますが、他のLMSでの動作は未確認です。

[TOP](#)

コンテンツを読み込む

ReKOSで作成、書き出しをしたコンテンツパッケージは、ライブラリに読み込むことができます。

1. [ファイル]メニューまたはツールバーから[ライブラリに読み込み]  を選択します。
2. [フォルダの参照]ウィンドウで読み込むコンテンツパッケージを選択し、[OK]をクリックします。

読み込むコンテンツパッケージの選択を誤ったり、コンテンツパッケージの上のフォルダを選択した場合などは、[OK]をクリックしても再び[フォルダの参照]ウィンドウが出ます。

[TOP](#)

クイズを作成する

クイズをページとして作成し、プレゼンテーションに利用できます。

1. [編集]メニューまたはツールバーから[クイズ作成]  を選択します。
2. [クイズ作成ウィザード]が開きます。
3. [選択型クイズ]あるいは[穴埋型クイズ]をプルダウンメニューで選択し、[挿入]ボタンをクリックしてください。下の欄にサンプルが表示されますので、それを修正して利用するか、または同様の書式で問題文や正解を入力してください。
4. 画像を挿入する時には、[...]ボタンで画像を選択して、挿入したい場所にカーソルを移動し、[挿入]ボタンをクリックします。
5. [Next]ボタンをクリックすると、クイズのプレビューが表示されます。
6. LOM情報を入力します。
7. [Finish]ボタンをクリックして終了します。

クイズ機能は現在、機能調整中です。

クイズをフォルダ・HTML・LMS用書き出す場合は、使用している画像は自動的にコピーされません。必要な画像をファイルとしてコピーしてください。

クイズをLMS用書き出してLMSで使用しても、クイズの解答履歴はLMSに送信されません。

[TOP](#)

フォルダやページの検索

1. [検索]メニューまたはツールバーから、[検索を有効にする]  を選択します。ツールバーの[検索]ボタンが押された状態になり、[検索モード]であることがわかります。
2. ツリービューでフォルダを選択し、キーワードを入力、必要であれば分類体系をプルダウンで選択後、[検索]をクリックします。選択したフォルダを検索範囲として、キーワードや分類体系で絞り込んで検索できます。
3. 該当するものがあれば、リストビューに表示されます。その中からフォルダやページを選択してプレゼンテーションを開始したり、並べ替えエリアにドラッグ&ドロップして追加することができます。
4. リストビュー上部の項目名(タイトル、概要)をクリックして、リストの表示順を変更することができます。リストビューでの表示順変更は、プレゼンテーションの再生順には影響しません。
5. 検索を終了する時は、再度[検索]メニューまたはツールバーから、[検索を有効にする]を選択して[検索モード]を解除します。

[TOP](#)

オブジェクトとして利用できるファイル形式

静止画

- ・JPEG (.jpg .jpeg)
- ・PNG (.png)

動画

- ・Windows® Media (.avi .mpg .mpeg .wmv .asf)
Windows® Media Playerのインストールが必要です。
- ・QuickTime™ (.mov .mp4)
QuickTime™ Playerのインストールが必要です。

インタラクティブメディア

- ・Shockwave® (.dcr)
Macromedia Shockwave® Player のインストールが必要です
- ・Flash™ (.swf)
Macromedia Flash™ Player のインストールが必要です。

音声

- ・Windows® Media (.mp3 .wav .wma)
Windows® Media Playerのインストールが必要です。

[TOP](#)

非営利目的での利用についての問い合わせ先

理化学研究所 計算宇宙物理研究室
e-mail : rekos@atlas.riken.go.jp

営利目的での利用についての問い合わせ先

株式会社 メタ・コーポレーション・ジャパン
e-mail : smac@metaco.co.jp

[TOP](#)

Microsoft、Windows、Windows NT、Outlook、Windows Media、Windows Media Playerは、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、Pentium は、米国 Intel Corporation および子会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

QuickTime Playerは、米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国々で登録された商標です。

Macromedia Shockwave Player、Macromedia Flash Playerは、米国Macromedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft Internet Explorer (C) 1995-2001 Microsoft Corporation について、その著作権者は、明示的、黙示的の如何を問わず何等保証もせず、本ソフトウェアが原因で発生する紛争や損害に関し一切の責任を負わないものとします。

その他すべての商標または登録商標は、該当する各社が所有しています。